

## (仮称) 埼玉県屋内 50m水泳場及びスポーツ科学拠点施設整備・運営事業 事業概要案

### 1. 目的

埼玉県では、『埼玉県スポーツ推進計画（H30）』における施策の一つである「スポーツ参画人口の拡大」として屋内 50m水泳場整備の推進を、また「世界に羽ばたくトップアスリートの輩出」としてスポーツ科学を活用した拠点施設の設置を検討しています。

このうち、屋内 50m水泳場については、県内の公営施設としては初の整備となる屋内 50m プールを備え、国内主要大会も開催できる規格を有した施設を想定しています。最先端技術を活用して競技力向上をサポートするとともに、一般県民を対象とした生涯スポーツの振興や健康づくりに資する観点も踏まえるなど、様々な利用形態に対応できる施設を目指しています。

また、スポーツ科学拠点施設については、スポーツ科学の知見を活かした県内アスリートの競技力向上を支援する拠点としての役割を担うとともに、施設で集積・分析したデータをもとに、県内のスポーツ実践者の競技力向上支援やスポーツを通じた県民健康増進を目指しています。

#### 屋内 50m水泳場

##### 【基本的な考え方】

- ・国内主要大会が開催可能なプール
- ・県民が広く利用できるプール

##### 【利用のイメージ】

- ・アスリート及び指導者  
国体選手、全国大会出場選手の  
トレーニング支援 等
- ・スポーツ競技者及び実践者  
競技団体等で選手として活動  
マスターズ選手として活動  
中高生の部活動 等
- ・一般県民  
生涯スポーツや健康増進

#### スポーツ科学拠点施設

##### 【基本的な考え方】

- ・競技力向上の拠点施設
- ・県民が利用しやすく、健康づくりに寄与する施設

##### 【利用のイメージ】

- ・アスリート及び指導者  
国体選手、全国大会出場選手の  
測定や分析、トレーニング支援  
ジュニア選手の発掘や育成 等
- ・スポーツ競技者及び実践者  
競技団体等で選手として活動  
マスターズ選手として活動  
中高生の部活動 等
- ・一般県民  
生涯スポーツや健康増進  
公園の賑わい創出

## 2. 施設に期待する役割と想定される導入機能

### (1) 期待する役割

屋内 50m水泳場及びスポーツ科学拠点施設では、以下のような役割が期待されます。

#### 1) 屋内50m水泳場

- ・ 県内唯一の公営の屋内 50m水泳場として、各種大会を開催する。
- ・ 水中スポーツのトレーニング施設として、最先端技術を用いて県内のアスリートの競技力向上を図る。
- ・ スポーツ科学拠点施設と連携することで測定や指導をオンライン等で実施し、競技力向上を図る。
- ・ 水泳教室や水中運動教室を開催し、県民の健康づくりやスポーツライフの充実を図る。

#### 2) スポーツ科学拠点施設

- ・ スポーツ科学の知見や技術を用いたトレーニングが行える施設として、県内のアスリートの競技力向上を図る。
- ・ スポーツ科学の知見に基づく適切なトレーニング方法などを県内に広く普及することで、県内のスポーツ実践者のスポーツライフの充実を図る。
- ・ 国体チームなど県内トップアスリートの合同合宿、練習や栄養指導の会場に利用するとともに、公園利用者の宿泊や飲食の場として賑わいを創出する。
- ・ 定期的な体力測定や映像装置等による動作分析やゲーム分析を実施する。
- ・ 県内のトップアスリートやスポーツ実践者等の測定データを集積・分析することで、アスリートや指導者に各種目の特徴に合わせたトレーニング方法等を提供するとともに、得られた知見を活用した運動プログラムの提供などによるスポーツを通じた県民の健康増進を図る。
- ・ スポーツ科学の知見に基づく指導が行える指導者を育成する。
- ・ 県の総合スポーツ拠点として、県内全域のスポーツ施設をデジタルで結ぶハブの役割を果たす。
- ・ 情報収集・発信拠点として、様々なスポーツの情報を収集するとともに、展示室などで県民向けの発信を行う。
- ・ 各種競技団体の連携拠点として、競技団体間の交流や情報交換の場を提供する。

## (2) 想定される導入機能

屋内 50m水泳場及びスポーツ科学拠点施設では、以下のような機能が期待されます。

### 1) 屋内 50m水泳場

#### ①大会開催機能

地区大会から国内主要大会まで、幅広い大会が開催可能な規模と設備を整える。

#### ②アスリート支援機能

国体選手のなどの県内トップアスリートを始め、県内の水泳競技団体が充実したトレーニング、練習会等が行える機能やアスリートが自らの体や動きの状態を把握するための動作分析等、スポーツ科学の知見を生かした機能により競技力向上につなげる。

#### ③指導者育成機能

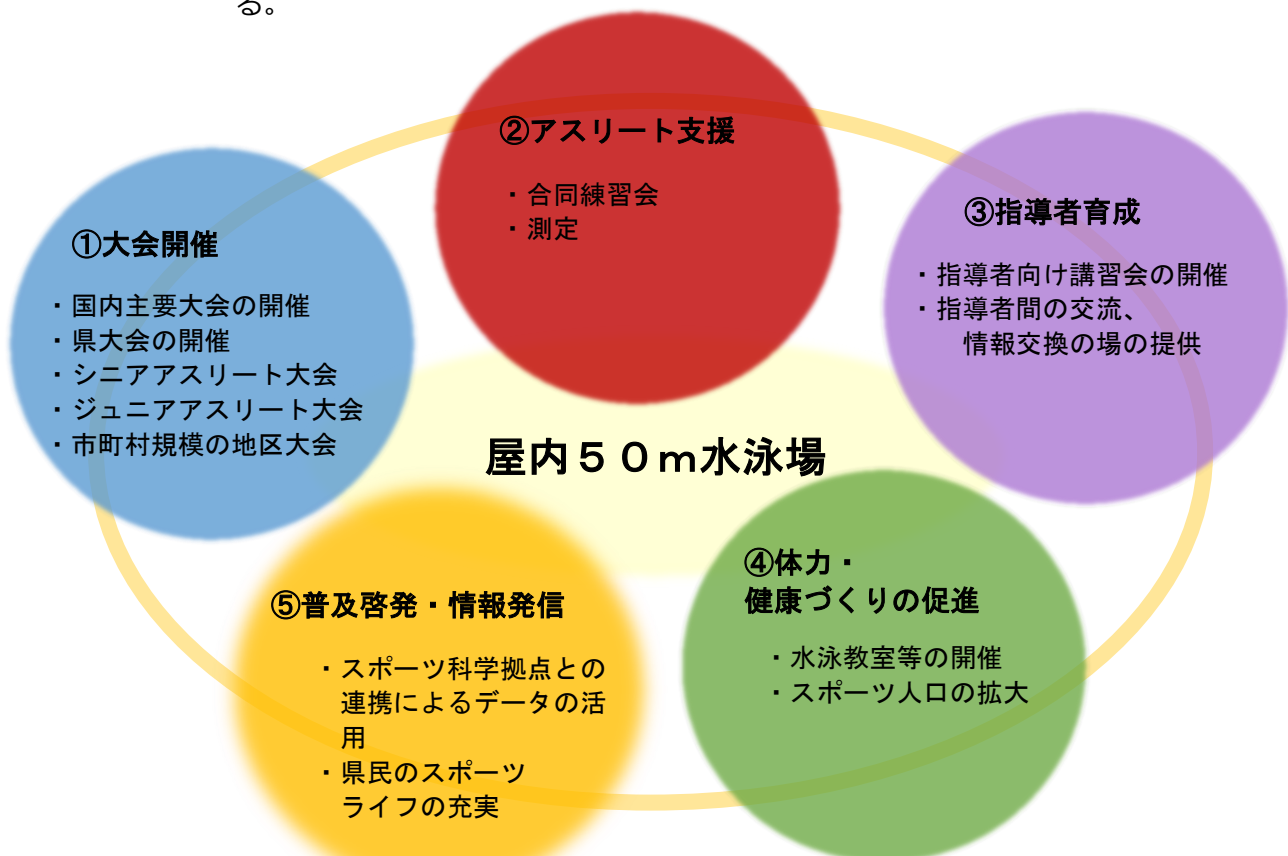
スポーツ科学の知見に基づく指導力を持った各水泳競技の指導者を育成するとともに、指導者同士の情報交換や連携を促進する機会を提供する。

#### ④健康・体力づくりの促進機能

水深の変更やプールの分割などにより、スイミングスクールや健康増進のための水中エアロビクスや歩行プールとしての使用など、子どもから高齢者まで、障害のある方もない方も利用できるような機能を備える。

#### ⑤普及・啓発機能

アスリート支援で得られたデータ等を、県民の健康増進やケガ予防などのために広く普及するなど、県民のスポーツライフの充実を推進するための情報発信機能を備える。



## 2) スポーツ科学拠点施設

### ①測定・分析・指導、各種相談、指導方法研究開発機能

県内アスリートのスポーツ科学を活用したトレーニング環境を整備するとともに、スポーツ科学に基づく適切なトレーニング指導や栄養指導、メンタル指導、ドーピング対策等への支援を行うとともに、アスリート支援で得られた知見を活用し、トレーニングプログラムの開発を行う。

### ②アスリート発掘・育成機能

将来トップアスリートとなる可能性のあるアスリートを発掘し、継続的にスポーツ科学の知見を活用した育成支援を行う。

### ③指導者育成・指導體制の強化支援機能

講習会等を行うことで、スポーツ科学に基づく適切なトレーニング指導や栄養指導、メンタル指導、ドーピング対策指導等を行える指導者を育成する。

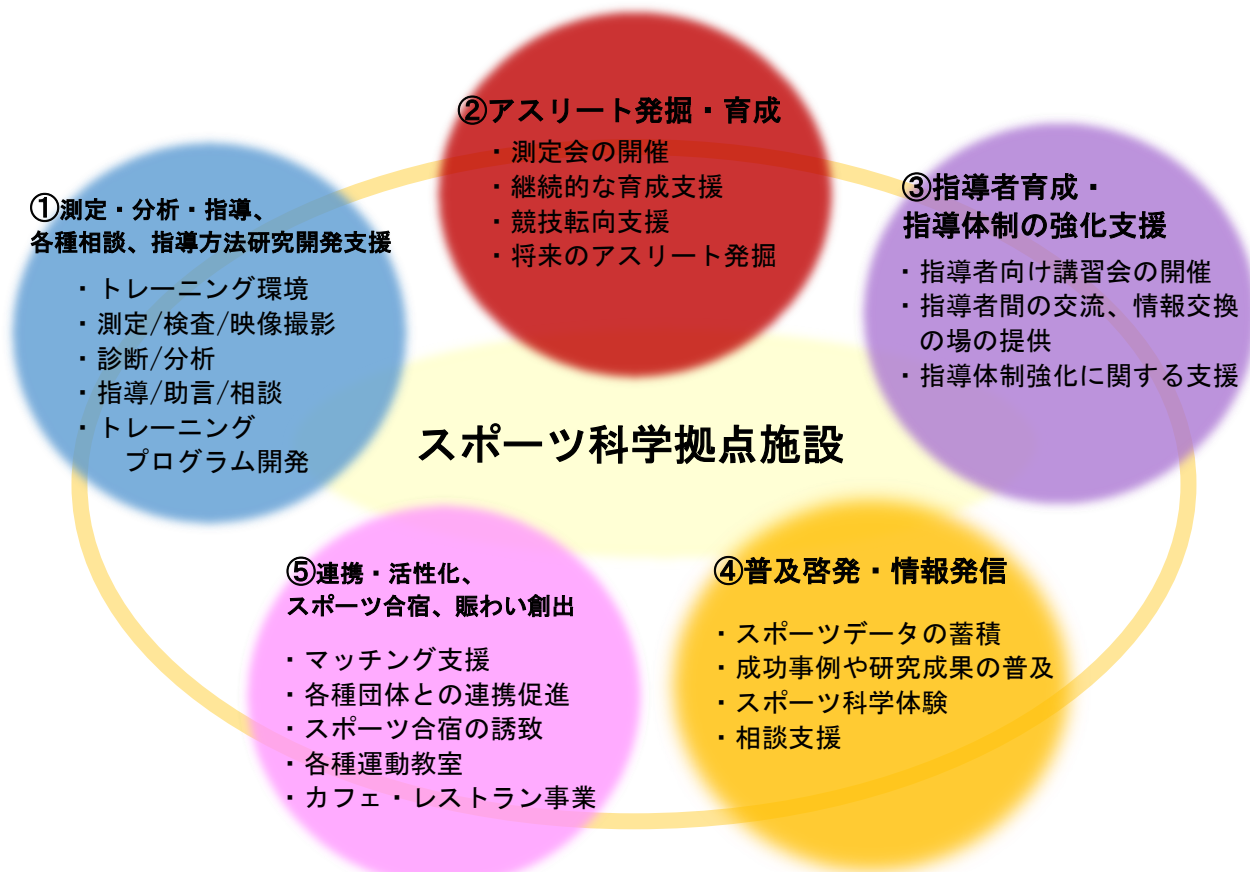
### ④普及啓発・情報発信機能

アスリート支援の中で得られたスポーツ科学の知見やデータ、研究成果などを収集し、広く発信することで、スポーツ科学の普及や、スポーツライフの充実を図る。

### ⑤連携・活性化、スポーツ合宿、賑わい創出機能

交流やマッチングの機会を提供することで、競技団体、大学、企業、NPO、市町村等のスポーツ分野での多様な連携を推進する。

スポーツ合宿や各種運動教室などスポーツによる賑わいの創出を行う。



### 3. 整備予定施設の概要

整備予定施設の概要は次のとおりです（現時点の想定であり、今後変更となる可能性があります）。

整備施設		主な使い方
屋内 50m水泳場		国内主要大会の開催や一般県民の健康づくりやスポーツライフの充実
スポーツ 科学拠点施設 ※	スポーツ科学棟 (測定・研修・トレーニング)	アスリートを中心とした各種スポーツ科学に関する測定やトレーナーによる指導、各種相談 スポーツ科学の知見を活用したトレーニングプログラムの開発
	宿泊・レストラン	各種スポーツ競技の合宿 (200名程度が宿泊可能な規模を想定)。 公園利用者が利用できる宿泊、レストラン施設
	オフィス棟	県内の競技団体のオフィスや会議室としての利用 又はスポーツ科学が体験できる体験室や展示室としての利用
	アリーナ棟	バレーボールやバスケットボールなど各種競技 (一般利用含む) 複数のカメラによるゲーム分析

※スポーツ科学拠点施設は、現時点において、4棟を近接して整備することを必須とするものではありません（利便性等を考慮の上、建設候補地内に4棟を分散して整備することも想定）。

#### (1) 屋内 50m水泳場

導入施設		主な導入設備・機能等
メインプール ゾーン	50m プール (50m×25m)	日本水泳連盟の「公認プール（国際基準プール）」の施設基準を満たすものとする。 また、可動床（0～3m）を設置するとともに、可動壁を設置し25m×2か所に分割できるようにする。
	飛込プール	日本水泳連盟の「公認プール（国際基準飛込プール）」の施設基準を満たすものとする。 また、可動床（0～5m）を設置する。

導入施設		主な導入設備・機能等
サブプール ゾーン	25mプール (25m×25m)	日本水泳連盟の「公認プール（国際基準プール）」の施設基準を満たすものとし、室外から観覧できるギャラリーを設ける。 また、可動床（0～2m）を設置する。 その他、監視室、採暖室、倉庫を設ける。
競技力向上ゾーン		スイミル、動作分析用カメラ、ドライランドを設ける。
更衣ゾーン		選手更衣室、一般更衣室を設ける。
機能回復ゾーン		サウナ室、ジャグジー、交代浴を設ける。
選手利用ゾーン		第一・第二召集所、身体測定室、ドーピング検査室、トイレ、報道関係者室、コーチ室、研修室、採暖室、倉庫を設ける。
プール運営会議室ゾーン		審判室、記録室、放送室、競技本部、来賓・大会役員室、監視・医務室、研修室、会議室1・2、多目的室、トイレ、倉庫を設ける。
プール事務室		事務室を設ける。
倉庫		倉庫を設ける。
共用部		一般利用トイレ、エントランス、階段、エレベーターを設ける。
観客ゾーン		観客席3,000席、車いす利用者用観覧席30席程度を設ける。 その他、観客用トイレ、休憩・売店・自販機コーナーを設ける。
その他		廊下・機械室など。
<b>延床面積 合計</b>		<b>約17,050㎡</b>
駐車場		400～500台程度を想定する。

## (2) スポーツ科学拠点施設

### 1) スポーツ科学棟

導入施設		主な導入設備・機能等
測定	体力測定室 形態測定室	体力診断システム、最大酸素摂取量測定器、開眼片脚立測定器、反復横跳び測定器ほか、各種測定器を設ける。
	健康検査室	呼吸器系測定前の事前メディカルチェック機器を設ける。
	呼吸器系測定室	大型トレッドミル及び最大酸素摂取量測定器を設ける。
	筋系測定室	多用途筋機能評価運動装置を設ける。
	情報分析室	各種データの情報分析を行う PC 機器を設ける。
	相談室	体力相談室、栄養相談室、心理相談室を設ける。
	説明室	測定や検査前に、被検者に説明を行う部屋として 40 席程度の広さの部屋を設ける。
	その他諸室	指導員室、更衣室、倉庫、トイレを設ける。
トレーニング	トレーニング室	ウェイトマシン系、フリーウェイト系、エアロビクス系、補強トレーニング器具ほか、各種トレーニング機器を設ける。
	多目的室	バドミントンコート程度の広さ（3室）を設ける。内、1室を低酸素室とする。
	その他諸室	倉庫、トイレを設ける。
管理	受付・事務室	所長室、応接室含む。
	会議室 小	25 席程度の広さの部屋を設ける。
	会議室 大	50 席程度の広さの部屋とし、2室を可動間仕切りで仕切る仕様とする。
	その他諸室	倉庫、トイレ、機械室を設ける。
共有部	エントランスホール	エントランスホール、更衣室、トイレ、ロビー・階段・エレベーター・廊下、シューズラックを設ける。
<b>小計</b>		<b>約 4,700 m<sup>2</sup></b>
駐車場		100～150 台程度を想定する。

## 2) 宿泊・レストラン

導入施設		主な導入設備・機能等
宿泊・ レストラン	事務室	受付を兼ねた宿泊事務室を設ける。
	会議室	25 席程度の広さを設ける。
	体育館	バスケットボールコート 1 面程度の広さを想定。
	研修室	パーティション等で複数室に分割可能な 200 席以上の研修室に映像装置を設ける。
	レストラン	150 名程度が同時に利用可能な広さを設ける。
	厨房・倉庫	各種厨房機器を設ける。
	浴室、脱衣所、トイレ	宿泊可能人数に対し適切な広さの浴室及び脱衣所を設ける。
	ランドリー 大	浴室に隣接して、各人が利用することを想定する。
	ランドリー 小	各フロアに設置して、ランドリー大を補完する。
	ツインルーム	25 室程度。計 50 名の宿泊を想定する。
	多目的ツイン	2 室程度。障がい者や家族連れなどの利用を想定する。
	和室	5 室程度。1 室に 30 名の宿泊を想定する。
	研修室	45 名程度が利用可能な広さを想定。使用していないときは、談話室として開放することを想定する。
	談話室	宿泊者同士が交流できる場所を設ける。
	障害者用浴室	多目的ツインに隣接して設ける。
その他諸室	リネン、倉庫、トイレ、ホール、ロビー、階段、廊下、機械室等を設ける	
<b>延床面積 合計</b>		<b>約 5,100 m<sup>2</sup></b>

## 3) オフィス棟

導入施設	主な導入設備・機能等
競技団体オフィス	県内の各種競技団体のオフィスのほか、会議室、応接室等を設ける。
研修室	パーティション等で複数室に分割可能な 200 席以上の研修室に映像装置を設ける。
スポーツ科学体験室、展示室	スポーツ科学の体験や展示が行えるスペースを設ける。
<b>延床面積 合計</b>	<b>約 2,000 m<sup>2</sup></b>



#### 4) アリーナ棟

導入施設		主な導入設備・機能等
アリーナ	アリーナ	バスケットコート2面程度の広さを想定し、可動式観客席を設ける。（※現状：可動式観客席 200 席） ゲーム分析が可能なカメラを設置する。
	その他諸室	放送室、器具庫を設ける。
<b>延床面積 合計</b>		<b>約 2,000 m<sup>2</sup></b>

#### 4. 想定業務内容

屋内 50m水泳場及びスポーツ科学拠点施設において想定する主な業務内容は次のとおりです（現時点の想定であり、今後変更となる可能性があります）。

##### (1) 屋内 50m水泳場

想定業務	主な内容
施設整備	施設の設計・建設等の実施。
施設の維持管理	建築物及び建築設備の保守管理、修繕等の実施。
施設の運営	-
大会開催等支援	県、競技団体又は民間事業者等が主催する大会・研修・合宿等の開催支援。
各種スポーツ教室等の実施 (一般利用者対象)	プールを活用した、一般利用者向けの各種スポーツ教室等の実施。
トレーニング指導 (一般利用者対象)	一般利用者向けに、健康増進、体力向上に向けた指導等の実施。
施設の運営管理・利用者受付	施設全般の運営管理、利用者受付、利用料金の収受等の実施。
プールの監視・水質等衛生管理	プールの監視及び水質等衛生管理等の実施。
その他、民間提案による自主事業	施設内を活用した各種提案プログラムの実施や、飲食・物販等事業の実施（民間事業者による独立採算を基本とする）。

## (2) スポーツ科学拠点施設

想定事業	主な内容
施設整備	施設の設計・建設等の実施。
施設の維持管理	建築物及び建築設備の保守管理等の実施。
施設の運営	－
アスリートサポート事業 (アスリート対象。下記①～⑥。)	－
①メディカルチェック	アスリートの心身のコンディションを把握するためのメディカルチェックの実施。
②身体能力の測定	トレーニング機器や各種測定機器を活用した身体能力の測定実施。
③動作分析	各種測定機器を活用した動作分析の実施。
④競技力向上のためのトレーニング指導	測定・分析結果を活用した、アスリート育成・競技力向上のための各種トレーニング指導の実施や、リハビリ後の競技復帰支援の実施。
⑤リカバリー機能	施設や設備を活用し、アスリートや一般県民の疲労回復促進を図る。
⑥メンタル指導	スポーツ心理学等を活用したメンタルトレーニング、カウンセリング等の実施。
⑦栄養指導	アスリートの食生活管理支援等、栄養指導の実施。
競技指導者の育成	県内競技団体指導者や体育教員等を対象とした、指導者育成支援の実施（指導者派遣、講習会の実施等）。
スポーツ科学の研究・情報発信事業	本施設で得られたデータや各種スポーツ科学に関する情報等を踏まえた研究・県民向け情報発信の実施。
トレーニング指導 (一般利用者対象)	一般利用者向けに、トレーニング機器や各種測定機器を活用した測定・分析の実施や健康増進、体力向上に向けた指導等の実施（アスリートが利用しない時間帯に、上記①～⑥の一般利用者向け業務を実施）。
各種スポーツ教室等の実施 (一般利用者対象)	スポーツ科学を活用した、一般利用者向けの各種スポーツ教室等の実施。
施設の運営管理・利用者受付	施設全般の運営管理、利用者受付、利用料金の收受等の実施。
宿泊施設・レストランの運営	宿泊施設・レストランの運営管理等の実施。

想定事業	主な内容
その他、民間提案による自主事業	施設内を活用した各種提案プログラムの実施や、飲食・物販等事業の実施（民間事業者による独立採算を基本とする）。

## 5. 建設候補地

### (1) 屋内50m水泳場

屋内50m水泳場は川口市神根運動場内に整備することを検討しています。

埼玉県川口市 神根運動場及び神根公園

所在地	埼玉県川口市大字神戸 767-1 他
敷地所有者	川口市
敷地面積	神根運動場：約 10.2ha 神根公園：約 2.7ha
区域区分	神根運動場：市街化調整区域 神根公園：市街化調整区域
建ぺい率	神根運動場：50% 神根公園：20%
容積率	100%
現況施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川口北スポーツセンター</li> <li>・神根運動場野球場（A～D）</li> <li>・神根運動場競技場 A（一般用サッカー場兼ラグビー場）</li> <li>・神根運動場競技場 B（少年用サッカー場）</li> <li>・神根運動場競技場 C（ターゲットバードゴルフ場）</li> <li>・駐車場</li> </ul>



Copyright(c) N T T空間情報 All Rights Reserved

図4 神根運動場及び神根公園位置図



Copyright(c) N T T空間情報 All Rights Reserved

図5 神根運動場及びび神根公園近隣図



Copyright(c) N T T空間情報 All Rights Reserved

図6 神根運動場及びび神根公園詳細図

## (2) スポーツ科学拠点施設

スポーツ科学拠点施設は上尾運動公園（スポーツ総合センター含む）に整備することを検討しています。

### 上尾運動公園及びスポーツ総合センター（公園外）を含むエリア

所在地	埼玉県上尾市埼玉県上尾市日の出地内 他
敷地所有者	埼玉県
敷地面積	上尾運動公園 東側エリア：24.0ha 上尾運動公園 西側エリア：13.1ha スポーツ総合センター：約 1.5ha 合計：約 38.6ha
区域区分	上尾運動公園 東側エリア：市街化区域、一部市街化調整区域 上尾運動公園 西側エリア：市街化区域 スポーツ総合センター：市街化調整区域
建ぺい率	公園内：12% スポーツ総合センター敷地：50%
容積率	公園内：100% スポーツ総合センター敷地：100%
現況施設	
公園東側	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外レジャープール（夏季のみ営業）</li> <li>・県立武道館（2003年竣工、延床面積：11,150.92㎡）</li> <li>・埼玉アイスアリーナ（2014年竣工、延床面積：5,332.72㎡）</li> <li>・スポーツ総合センター（1982年竣工、延床面積：9,003.90㎡、公園区域外）</li> <li>・スポーツ総合センター駐車場：普通車 111台</li> <li>・公園駐車場（夏季有料）：普通車 965台、障害者用 15台、大型車 20台</li> </ul>
公園西側	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸上競技場（1967年竣工、第2種陸上競技場、収容人員：40,200人（メインスタンド：8,200人））</li> <li>・補助競技場（1967年竣工）</li> <li>・体育館（1967年竣工。延床面積 7,905㎡）</li> <li>・テニスコート（クレーコート5面）、児童遊園地、ジョギングコース</li> <li>・体育館前駐車場：普通車 89台、障害者用 3台</li> <li>・陸上競技場北側駐車場：普通車 217台、障害者用 6台</li> </ul>





Copyright(c) N T T空間情報 All Rights Reserved

図1 上尾運動公園位置図



Copyright(c) N T T空間情報 All Rights Reserved

図2 上尾運動公園近隣図



Copyright(c) N T T空間情報 All Rights Reserved

図3 上尾運動公園詳細図

※上記青枠内に示すエリア。なお、図中の赤枠内の屋外レジャープールについては今後廃止を予定しており、屋外レジャープール跡地を含めた公園全体のあり方について別途検討を行います。詳細は、下記をご参照ください。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a1105/saitamasuizyokouen.html>



## 6. 想定スケジュール

現時点の想定スケジュールは次のとおりです。なお整備手法としては、P F I方式の導入も視野に検討を進めています。

